

2017 年度 事業報告書

(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

2018 年 5 月 30 日

公益財団法人 同盟育成会

【 I 】 事業の状況

【 学生寮事業 】

1. 入寮状況

- (1) 2017 年度の新寮生募集では男子 9 人、女子 29 人を採用した。これにより、期首の在寮生は男子の白山寮(定員 54 人)が 52 人で欠員 2、女子の市谷寮(同 62 人)は 62 人と満杯となった。
- (2) 2018 年度の新寮生募集では、採用者は男子 16 人、女子 14 人の計 30 人とした。これにより、同年度の期首の在寮者数は、白山寮 54 人、市谷寮 62 人で、満杯でスタートすることとなった。

2. 寮生自治

学寮の日常的運営については、白山、市谷それぞれの寮で寮生が組織する委員会に委ねた。ほぼ週 1 回のペースで開かれる委員会の会議には、学寮長も参加し、議論を傍聴するとともに、必要に応じて助言した。

3. 行事

① 対面式

白山、市谷寮の合同による 2017 年度の新入寮生・在寮生の対面式を 4 月 9 日に市谷寮で開催。山内理事長が訓示した。

② 夏季キャンプ

寮生の自主行事である恒例の夏季キャンプは 2017 年 8 月 9、10 の両日、千葉県南房総市で開催。白山、市谷両寮の男女寮生 93 人が参加した。夏季キャンプには、寮生訓育活動の一環として財団から補助金を出すとともに、黄田白山、齋藤市谷両寮長も同行し、指導に当たった。

③ 創立記念式と講演会

2017 年 10 月 15 日、白山寮で、毎年恒例の創立記念講演会と記念式を白山寮で開催した。記念講演会では、共同通信社出身で米ニューヨーク在住のジャーナリスト、津山恵子さんを講師に招き、「好きなことを続けよう(Do What You Love To Do)」をテーマに講演をした。

④ 成人式

新春恒例の成人式を 2018 年 1 月 14 日、白山寮で開催。白山、市谷から 92 人が参加し、成人を迎えた寮生を祝った。式には、両寮で成人を迎えた 33 人中 26 人が参加。山内理事長が出席して、新成人に記念品を贈呈した。

⑤ その他

寮生の希望者に TOEIC(英語検定試験)やインフルエンザ予防接種を育成会の費用負担で受けさせる事業を例年通り実施。また、寮生主催の新人歓迎会、クリスマスパーティー、卒寮生送別会などに補助金を支出した。

4. 市谷寮の管理・給食委託業者を変更

市谷寮の給食・管理業務を委託していた一富士フードサービス(株)との契約が 2018 年 3 月末で満

了するのを前に契約を打ち切ることを2017年12月に決定、同社にその旨を文書で伝えた。同社に代わる委託先として、㈱フジランドを選定、2018年3月14日、給食・管理業務の契約書を交わした。同時に、従来、白山、市谷の日曜、祝日の管理業務を両寮長に委託していたが、これをフジランドに変更、2018年4月1日付で契約書を交わした。

一富士フードサービスは市谷寮発足時から給食・管理業務を委託している会社だが、調理人に対する対応や食材の提供面で問題があり、調理人が退社するのを機に、給食・管理体制を抜本的に見直す必要があると判断した。

【奨学金事業】

1. 古野給与奨学金

① 2017年度の採用

2017年度の大学院生向け給与奨学金は5月19日に募集を締め切った結果、9大学から15人の推薦があった。また、学部生の給与奨学金も同日に締め切り、9大学から12名の推薦があった。

大学院の15人のうち3人については、ジャーナリストを目指しているのか疑問がある3人がいた。このため、大学院については、この3人を除く12人、学部生については推薦のあった12人全員を6月7日開催の奨学生選考委員会で最終審査を行い、採用を決定した。

② 給与奨学生研修会

給与奨学生(大学院生)の研修会を9月5、6の両日、横浜市で開催。この研修会から、元上智大学教授の橋場義之氏がコーディネーターを務め、大学院生からの研究報告について講評を行った。研修会には5日、学部生も参加、合同で調査報道に関する講演を聴講。また、夜には懇親会を開催した。

一方、2018年3月7日には、給与奨学生が参加したセミナーを日比谷の日比谷松本楼で開催。大学を卒業、大学院を修了する奨学生に山内理事長から記念品を贈呈した。

③ 2018年度の奨学生募集と採用

2018年度の奨学生募集については、2月初旬にホームページにアップ。募集期間は4月2日から5月18日で、採用者数は大学院、学部生とも25人と前年度実績の約2倍とし、給与月額も大学院生6万円、学部生4万円とそれぞれ1万円増とした。

採用者は6月6日開催の奨学生選考委員会で決定する予定。

【収益事業】

引き続き、東京・渋谷の旧学寮跡地を、時間貸し駐車場を運営する日本パーキング㈱に貸与し、収益を上げた。賃貸料収入は月額270万円。2017年度の年間収入額は3,240万円。

【Ⅱ】 管理部門の状況

1. 諸規程の整備

引き続き諸規則の整備を進めた。制定、改正した主な規程等は以下の通り
職員就業規則改正(2017年5月31日理事会)、会計処理規則改正(同7月19日理事会)、職員再雇用制度の整備と規則制定、嘱託職員就業規則改正、職員就業規則改正(同10月25日理事会)、古野奨学金制度運営規程改正、学寮修繕積立金規程改正と同盟学寮修繕計画改正、職員給与制度見直

しと職員就業規則改正(2018年1月17日理事会)、役員報酬等の支給規程改正(2018年3月16日評議員会)など。

2. 役員等の異動に関する事項

2017年6月16日の評議員会で次期理事、監事を選任、理事長、常務理事を選任。

3. 職員等の異動に関する事項

2017年4月1日付で、アルバイトの女性1名を正規職員に採用。

4. 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	主な決議事項等
(第1回) 2017年5月31日	2016年度事業報告書、同決算書の決定 事務局長交代を決定 退任役員への退職慰労金贈呈を決定 2017年度第1回評議員会(定時会)招集を決定 職員就業規則改正を決定 次期理事、監事候補者推薦を聴取 次期評議員決定を聴取 代表理事職務執行状況報告を聴取
(第2回) 2017年6月16日	理事長、常務理事選任を決定
(第3回) 2017年7月19日	会計処理規則改正を決定 2017年度第2回評議員会招集を決定 代表理事の職務執行状況報告を聴取
(第4回) 2017年10月25日	職員再雇用制度の整備と規則制定を決定 嘱託職員就業規則改正を決定 職員就業規則改正を決定 2017年度上期事業報告と上期決算を聴取 代表理事の職務執行状況報告を聴取
(第5回) 2018年1月17日	古野奨学金制度運営規程改正を決定 学寮修繕積立金規程改正と同盟学寮修繕計画改正を決定 職員給与制度見直しと職員就業規則改正を決定 役員報酬等の支給規程改正案の評議員会への提案を決定 2017年度第3回評議員会の招集を決定 2018年度事業計画策定と同予算編成方針を聴取 代表理事の職務執行状況報告を聴取
(第6回) 2018年3月16日	2018年度事業計画書、同予算書を決定 2018年度学寮入寮者選考結果を聴取 代表理事の職務執行状況報告を聴取
(第7回) 2018年3月16日	理事の個別報酬額を決定

(2) 評議員会

開催年月日	主な決議事項等
(第1回) 2017年6月16日	2016年度決算書の承認 次期理事、監事選任を決議 退職理事への退職慰労金贈呈を決議 2016年度事業報告書を聴取 次期評議員決定を聴取
(第2回) 2017年10月25日	決議事項なし 2017年度上期事業報告と上期決算の報告を聴取
(第3回) 2018年3月16日	役員報酬等の支給規程改正を決議

5. 許・認可、承認に関する事項

なし

6. 登記に関する事項

評議員(重任16人、新任6人、退任4人)、理事(重任9人、新任5人、退任5人)、監事(重任2人)の登記(2017年6月20日)

7. 報告等に関する事項

- (1) 2016年度事業報告書を提出(2017年7月3日、内閣府)
- (2) 任期満了に伴う理事等名簿を提出(2017年7月7日、内閣府)
- (3) 2018年度事業計画書等を提出(2018年3月26日、内閣府)

【Ⅲ】 保有株式に関する報告

その株式の20%以上を保有している企業について、概要を報告する。

企業名: 株式会社太平印刷社(非上場80万株・本社東京都品川区東品川1-6-16)

- (1) 資本金/事業内容 4,000万円/印刷業・従業員数60人
- (2) 代表者/役員数 沖田啓了 代表取締役社長/4人
- (3) 保有株数/比率 20万株・額面50円/25%
- (4) 保有の理由 当財団発足時の母体であった(社)同盟通信社が解散した際、その印刷部門が独立創業した会社で、1974年増資時に一部資金を当財団から貸与した見返りとして贈与された。
- (5) 当財団との関係 同社の石井和行会長が当財団理事を兼任している。
- (6) 処分の見通し 同社には買い戻す資金的余裕がなく、適当な売却先も見つからないため、処分は困難である。

【Ⅳ】 附属明細書

2017年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は作成しない。

以上